



# 「静岡県の心理職・児童福祉職 現地見学会」を開催しました

(富士児童相談所・西部児童相談所・吉原林間学園・三方原学園)

令和元年9月、「静岡県の心理職・児童福祉職 現地見学会」を開催しました。県内外の大学(大学院)で心理・福祉を学ぶ学生に参加いただき、児童相談所や施設の様子、心理・児童福祉職員の仕事内容等について見ていただき聞いていただきました。

今回は、東部コース(富士児童相談所・吉原林間学園)と西部コース(西部児童相談所・三方原学園)の2つの見学コースで実施しました。

参加された学生の皆様、開催に御協力いただいた大学関係者の皆様、ありがとうございました。



## 1 参加対象

大学(大学院)で心理又は福祉の勉強をされていて、県の心理職・児童福祉職や児童相談所・児童心理治療施設・児童自立支援施設の仕事に関心のある学生

## 2 参加募集

### (1) 募集方法

大学(心理・福祉関係の学部・学科のある)への案内通知の送付、県ホームページへの掲載、大学関係者に対する個別連絡

### (2) 募集期間 令和元年7月5日(金)～8月20日(火)

## 3 開催日・実施日程

### ① 東部コース(富士児童相談所・吉原林間学園)

令和元年9月5日(木) 9時45分～16時30分

9:45	集合 JR富士駅(9:45)又は新富士駅(10:00)
10:20	富士児童相談所 ・心理職・児童福祉職の仕事・職場等の説明 ・見学・児童相談所業務内容等要説明
12:00	昼食・休憩
12:50	移動(富士児童相談所→吉原林間学園)
13:15	吉原林間学園 ・見学・施設概要説明
14:30	職員(富士児童相談所・吉原林間学園)とのフリートーク
16:00	移動(吉原林間学園→JR富士駅又は新富士駅)
16:30	解散

### ② 西部コース(西部児童相談所・三方原学園)

令和元年9月10日(火) 9時45分～16時30分

9:50	集合(JR磐田駅)
10:40	西部児童相談所 ・心理職・児童福祉職の仕事・職場等の説明 ・見学・児童相談所業務内容等要説明
12:20	昼食・休憩
12:45	移動(西部児童相談所→三方原学園)
13:15	三方原学園 ・見学・施設概要説明
14:30	職員(西部児童相談所・三方原学園)とのフリートーク
16:00	移動(三方原学園→JR浜松駅)
16:30	解散

4 参加学生数 41名（東部コース・西部コースの合計）

専攻	心理 28名、福祉 13名	学 年	大学 40名
大学所在地	県内（4大学）33名、 県外（8大学）8名		（1年14名、2年17名、3年5名 4年4名）
性別	男性7名、女性34名		大学院1名（1年）



《参加学生に対するアンケート調査（見学会終了後実施）の結果から》

1 見学会に関する情報の入手経路 （複数回答のため参加者数より多い）

① 大学の教授・講師等から知った	20
② 大学の就職担当部署から知った	16
③ 友人・知人から知った	0
④ 静岡県のホームページで知った	4
⑤ その他（家族、大学から連絡をもらった）	3

2 見学会参加の目的

① 大学の勉強の参考としたいため	1名
② 将来の進路を考える上で参考としたいため	32名
③ ①と②の両方	6名
④ その他（その他の雰囲気を知りたかった、 以前から児童福祉の分野に関心があった）	2名



3 将来の意向について(1) （静岡県職員の採用試験を受験する希望・予定）

① 受験したい	8名	② できれば受験したい	14名
③ わからない	18名	④ 受験しない	1名
⑤ その他	0名		

4 将来の意向について(2) （静岡県職員の採用試験を受験するとしたらどの職種で受験するか）

① 心理	20名	② 児童福祉	10名
③ 行政	1名	④ 心理又は児童福祉	5名
⑤ 児童福祉又は行政	2名	⑥ 心理又は児童福祉又は行政	2名
⑦ 無回答	1名		

## 5 参加された学生の皆さんからの感想・意見（抜粋）

### （1）見学会に参加して

- ・話を聞くだけではなく、施設を実際に見てまわられた点に感動しました。実際に働いている方の声が聞けたのもよかったです。
- ・質問できる機会があったので、普段大学で児童相談所のことなどをただ学んでいただけだったのが、実際の声を聞いてより学びが深くなって自分のものにすることができたと実感できました。想像していたこととは違ったり、新しく気づかされたことがたくさんあったのでとても良かったです。
- ・普段大学で生活している中では見聞きすることがないようなことを多く経験できたのでよかったです。机上で学ぶことと、現場で学ぶことは全然違うなと感じました。本や先生から教えてもらうよりも、より臨場感をもって学ぶ方が、理解が深まるなと思いました。
- ・普段の授業だけでは分からない施設の様子や仕事の様子を詳しく知ることができたのでとても貴重な時間になりました。
- ・働いている現場を見学させていただいて、子どもたちが日中どのように過ごしているのか、どのように接するように心がけているのかなど、具体的な様子を見学でき、体験できてよかったです。
- ・説明が分かりやすく良かったです。
- ・自分が考えていた以上の事を知り学ぶことができ、今後の参考になりました。子どもの特徴についての対応の仕方などを学ぶことができた。
- ・学校では学べないことを聞けたり、施設を見学できてとても勉強になりました。今回の見学会で学んだことを参考にこれからの将来について考えていきたいと思います。
- ・施設を見学させていただいて、子どもたちが過ごす環境がわかって、支援が必要な子どもたちのことをより身近な存在として感じる事ができて、大変貴重な経験をさせていただきました。
- ・施設の見学をするうえで、実際の子どもの生活空間や細かな工夫など、自分の目で発見することができ、とても貴重な経験ができました。
- ・しっかりと児童相談所や施設の説明をていねいに話しているところがとてもいいなと思いました。
- ・日々、大変な職場にいるはずなのに、働いている皆さんが前向きで明るく素敵な笑顔だったので、なんだか勇気をもらいました。



### （心理を勉強されている学生の皆さんから）

- ・心理職について、職員の方のお話をお聞きして、大変魅力のある仕事であることがわかり、より興味をもて、現実に考えることができるようになりました。

- ・生の現場を見られたことで、心理についてより詳しく知ることができたと思う。学校でただ机に向かって勉強するだけでは知ることのできない児童相談所の実態や子どもたちがどんな風に生活し、どのようなケアを行っているかなどがよく分かった。
- ・大学の講義だけではよく分からなかった心理職の仕事内容、児童相談所での仕事を知り、より理解が深まるとともに興味が湧いてきました。カウンセラーとしてだけでなく、このような形で人を支援できるのか、と視野が広がり良い経験になりました。
- ・職員の方同士の雰囲気であったり、施設内の様子であったりを見学することで、心理職の重要性や楽しさなどを感じた。
- ・心理職とは何を主に仕事をするのかわからないということがあったため、今回この見学会に参加したことで具体的なことを知ることができました。職員さんの体験談も聞くこともできたので参加してよかったと思うことができました。
- ・気になっていた事や心理職に就くなかでの体験・やりがいなど率直に質問できたことが、今後の大学の勉強にも生かさせていけると自信になりました。

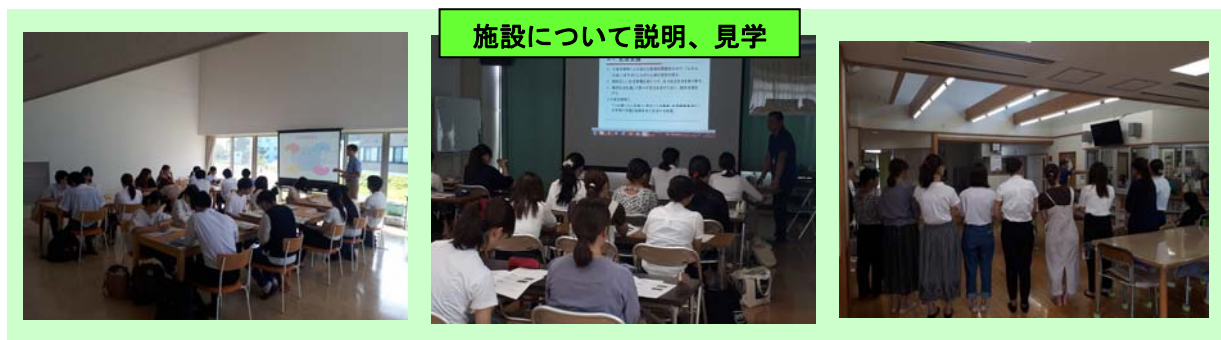


## (2) 進路を考える上での参考として

- ・施設を色々見て回ることが出来て良かった。実際に見たり職員さんの話を聞くことが出来、進路を考える上でとても参考になった。
- ・ここに来るまでどういう進路が良いか詳しく考えることが出来ませんでした。改めて考える機会を頂けて、自分は子どもに対する支援がしたかったのだと気づくことができて、すごく良かったです。
- ・中々このような施設での見学が少ないので、今回の見学会での貴重さを実際に感じる事ができました。私は、まだ進路があいまいで迷っている最中なので、この見学会を参考に進路のことも考えていこうと思いました。
- ・児童相談所や施設内の見学をさせて頂けたことで、仕事内容についてイメージがしやすかったです。授業では学ぶことができなかった内容をたくさんお聞きできたので、進路決定の参考にしたいと思います。
- ・県職員の採用や配属の仕組みなどを詳しく知ることができ、県職員の試験を受けようと思う気持ちが湧きました。また、児童相談所の業務や学園での実際の状況（どんな子どもがいて、どんな行動を呈するのか）を知る機会がこれまでなかったので、とても良い経験になった。
- ・特に児童福祉職について詳しくお話をきくことができました。まだ、はっきりと将来の進路について決まっていませんが、進路を考える上でとても勉強になりました。また、職によってしていることが異なるなど、違いを聞くこともできました。



- ・大学で聞く話より現場の今が聞けて、児童相談所等を知るいい機会となりました。自身の性格上、子ども達との関わりの上で起きたこととの気分をプライベートにもちこみ、精神的に不安定になってしまう…など、不安に思っていたが、ケースワークの実態を知り安心した。試験も厳しいものとなるかもしれないが、がんばってみようと思えた。
- ・児童相談所の仕事や施設の仕事に興味をもっていたので、現場で活躍している方の生の声が聞けて、とても参考になりました。私は、大学院に行かずに心理関係の仕事に就きたいと考えているため、大学卒の先輩方も多く働いていることに、とても安心しました。また、子どもが大好きなので、施設で働いてみたいと思いました。仕事をしていくうえでいろいろな子と関わっていることを知り、そのような子どもたちの変化を感じられる仕事はとても魅力的でした。
- ・授業で就職活動をする中で、児童福祉に興味を持つようになり、4年生として内定の承諾や公務員試験など、進路の決定が目の前に迫っている中で、実際に現場を見たり職員の方のお話を聞くことができたりして、大変勉強になりました。もっと早くこうした見学会に参加していればよかったとも思いましたが、今もう一度将来のことを考えることができてよかったです。



### (3) フリートークについて

見学会の最後に、児童相談所・施設の職員が心理職と児童福祉職のグループに分かれて、学生から質問・相談を受けました。

- ・大学では知ることのできない情報や現場の生の声を聞くことができたので、参考になることばかりでした。
- ・もともと持っていた疑問点だったり、見学して疑問に感じたことを聞くことができ良かったです。
- ・業務のこと以外にも試験や福祉厚生などについてお聞きでき、大変参考になりました。
- ・実際に働いている職員の方からあまり聞くことができないお話も聞くことができとても参考になりました。
- ・年齢の近い職員たちの人と話すことができたので、自分の疑問点を解決することができました。今回の見学会は自分の将来決定にとっても役立ちました。
- ・実際に働いている職員さんと交流（フリートーク）ができたり、職員さん方が何気なく接してくれたことで聞きやすくなったこともあるし、雰囲気も何となく知ることができたとし、参加して良かったと思っている。
- ・私たちが話につまると、進んで話題をふってくださったことも有り難かったです。
- ・どんな質問にも温かくこたえて頂けて、居心地が良かったです。



#### （4）意見

##### ① 見学会に関して

- ・今回のような見学会を今後も定期的に行っていただきたいです。
- ・今回のような見学会をもっと回数を増やして行ってほしい。
- ・今回の見学会のようなインターンシップよりは気軽に参加できるイベント→ここに就職したいから！というちゃんとした目的だけでなく、心理職の職場を知りたい、仕事内容を知りたいという目的で参加できるような機会があるととてもありがたいと思います。
- ・見学会を行っていただくことで、進路を明確にできるので、他の施設も見学してみたいと思いました。
- ・今回のように大学1年生から参加できるイベントや説明会を多く開催して下さると嬉しいです。就活生になってからは忙しくなってあまり地元に戻れなくなってしまっているのではないかと考えています。
- ・2～3月が春休みなのですが、できればその時期にもこういった見学会をやっていただきたいです。あと実際に少しでいいので入所している子どもたちと接してみたいです。県庁の福祉課の見学もしたいです。
- ・福祉と心理で分かれてフリートークの時に交代制にして両方のお話を聞けたらもっと良かったなと思った。

##### ② その他

- ・できれば他県の大学にも採用情報を提供していただけるとありがたいです。
- ・採用試験や面接の内容についての情報があると助かります。
- ・説明会や講義形式のように、施設の情報を広めてほしいと思いました。
- ・大学生に対しては、具体的な仕事内容やその様子などをホームページなどで提供してもらいたい。
- ・施設等の沿革が法律的な側面からだけでなく、実際に働く人の声ややりがい、どんなことが楽しいかなど聞きたい。
- ・仕事内容やこういった書類を作成しているかなどを見本や写真を使って教えてほしい。

